

# 総合計画審議会での意見・質問等一覧

資料3-1

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
1	意見・提案		全体		全体として、時代性をもう少し反映した内容にする、民間の力を活用して一緒に取組む内容を記載するなど、内容を充実していったらどうか。	第4回	
2	意見・提案		全体		企業、NPO、各種団体との協働について、もう少し全体で打ち出した方が良いのではないかと。例えば「33 情報共有の推進」では、ビッグデータの提供などが創業支援につながることもあるので、そういうことがこれからは非常に重要だと思う。	第6回	
3	意見・提案		全体		共同の指標を設ける、あるいは他のページにある関連する施策を示すなどの項目を跨いだ工夫が必要なのではないか。	第5回	
4	意見・提案		全体	施策の指標	活動指標を設定しようとしているのか、成果指標を設定しようとしているのか明確になっていない。もう少し整理していただきたい。	第3回	
5	意見・提案		全体	施策の指標	例えば、男女共同参画社会の実現や安全安心の地域づくりは、「市民がどう感じているか」ということが重要である。指標も、できれば市民意識調査等において、市民が実際にどう感じているのかということを持ち上げ、その割合をどの程度まで引き上げることを目指すのかといった設定の仕方が望ましいのではないかと。	第3回	
6	意見・提案		全体	施策の指標	例えば「7 共生社会の実現」のところに詳細施策が4つあり、想定事業が並んでいる中で指標の「1審議会などへの女性参画率」「2多言語対応している市発行印刷物数」が挙げられているが、なぜこの2つがここに出てきているのか。他の全ての施策についてよくわからない。	第3回	
7	意見・提案		全体	施策の指標	相談の仕組みをつくる、情報を提供するなどの取組があるが、相談に来れない人たちへのアウトリーチをどう考えていくかの方が大事ではないか。指標が、「就労ができた」「進学した」というポイントではなく、「相談件数が増えた」という方が大事ではないかと思っている。	第3回	
8	意見・提案	11	序論	計画の基礎条件	(3)財政状況	歳出をしっかりと抑制していくということがあまり見えてこない。戦略的に抑制していくことを考えないといけないのではないかと。色々なところと連携しながら財政の面でも健全化を図っていくところが、若干弱いのでは。そういう視点を市民と共有していくべきではないか。	第3回
9	意見・提案	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	「ケアタウン構想の推進」のように、地域そのものをつくっていく施策もある。各施策が連携して取り組めるように、市が地域に投げかけていかなければならない。地域政策課が所管している地域コミュニティ組織を中軸にして整理していくことが適切ではないか。	第3回
10	意見・提案	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	地域福祉の推進に関して、想定事業では「交流の場づくり事業」があるが、小田原はもともと他自治体に比べて各コミュニティ地区に拠点を整備するというのが弱かった。もう少し、拠点について工夫をするような方向性が今後望ましいのではないかと。	第3回

No	種別	ページ	該当箇所			委員意見・質問等一覧	会議回
11	質問	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	地域包括ケア関係で行うべき会議体の組織エリアをどのように考えるか。	第3回
12	意見・提案	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	「ケアタウン構想の推進」「地域福祉活動の充実」の双方に係るが、双方で同じ担い手が携わっている。社会福祉協議会の活動や民生委員・児童委員の活動などとケアタウンの活動も被っていることがあり、住民が関わりやすい組織のシンプル化が必要ではないか。	第3回
13	質問	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	施策の指標「3生活保護世帯における中学3年生の高等学校進学率」について、どういった施策で指標となるかが分かりにくい。現在行っていること、これから計画していることについてお聞きしたい。	第3回
14	意見・提案	31	基本計画	1 地域福祉の推進	詳細施策	生活保護世帯への支援として、入進学時のランドセルや洋服など、通年の費用ではなく特別費用的な支援を考慮してほしい。	第3回
15	意見・提案	32	基本計画	2 高齢者福祉の充実	現況と課題	現況と課題の「平成37年度には、高齢者人口56,500人」とあるが、指標の目標年が異なるので、平成34年度で統一した方が良いのでは。	第3回
16	質問	32	基本計画	2 高齢者福祉の充実	詳細施策	高齢者の終末期医療について、どこの施策で検討されているのか。	第3回
17	意見・提案	32	基本計画	2 高齢者福祉の充実	詳細施策	「1高齢者がいきいきと活動できる環境づくりの促進」では、高齢者の生きがい対策ということのみならず、高齢者の就労支援も考える必要があるのではないか。	第3回
18	意見・提案	33	基本計画	3 障がい者福祉の充実	詳細施策	難病患者についての施策を考えた方が良いのではないか。	第3回
19	意見・提案	33	基本計画	3 障がい者福祉の充実	詳細施策	難病を持つ子どもの親の苦労を軽減できるような施策を考えても良いのではないか。	第3回
20	意見・提案	33	基本計画	3 障がい者福祉の充実	詳細施策	「4就労と社会参加の促進」で、障がい者の特性を生かした新たな起業を支援するというような視点も必要ではないか。	第3回
21	意見・提案	34	基本計画	4 健康づくりの推進	詳細施策	スポーツについての言及が出てこない。健康づくりの重要な柱になるはずなので、スポーツの記述も入れていただきたい。	第3回
22	意見・提案	35	基本計画	5 地域医療体制の充実	施策の指標	指標「1休日・夜間急患診療の受信患者」の目標値が基準値より上がっているが、健康であって適切に受診するといううえで、「受信患者数が増える」というのが目標値になるのはいかがか。	第3回
23	意見・提案	36	基本計画	6 市立病院の機能拡充と健全経営	詳細施策	「3産科・小児科医療の確保と充実」に児童精神科医も入れてほしい。	第3回
24	意見・提案	36	基本計画	6 市立病院の機能拡充と健全経営	詳細施策	「5病院の再整備の推進」に関する指標が無いが、平成34年度に病院の再整備についてどういう形になるという目標なのか、分かりやすく書いてほしい。	第3回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回
25	意見・提案	36	基本計画	6 市立病院の機能拡充と健全経営 詳細施策	「5病院の再整備の推進」の「再整備」という言葉の意味が分かりづらいので、分かりやすく示してほしい。	第3回
26	質問	36	基本計画	6 市立病院の機能拡充と健全経営 施策の指標	「3経常収支比率」の目標値が平成34年度に100%とあるが、これについての説明をお願いしたい。	第3回
27	意見・提案	37	基本計画	7 共生社会の実現	「暮らしと防災・防犯」というところに、なぜ「7 共生社会の実現」が含まれるのか。施策8、9、10は比較的我々の命に関わるような問題が並んでいるが、共生社会の実現はそれほど緊急度があるように見えない。	第3回
28	意見・提案	37	基本計画	7 共生社会の実現 施策の指標	「多言語化している市発行印刷物数」が指標となっているが、これで正しく測れるのか。	第3回
29	意見・提案	38	基本計画	8 災害に強いまちづくり 詳細施策	福祉避難所の整備はどのようにになっているのか。計画されているようであれば、この中に記していただいた方が良いのではないかな。	第3回
30	意見・提案	38	基本計画	8 災害に強いまちづくり 詳細施策	「2地域防災力の強化」について、防災教育の充実にも力を入れていくべきではないか。	第3回
31	質問	38	基本計画	8 災害に強いまちづくり 施策の指標	「防災訓練参加者数」は、総合防災訓練、いっせい防災訓練などいろいろあるが、何の防災訓練なのか。	第3回
32	質問	39	基本計画	9 消防・救急体制の充実 詳細施策	不要な救急車の要請が課題とされているが、こちらの対策が書かれていない。どのように考えているか。	第3回
33	意見・提案	40	基本計画	10 安全・安心の地域づくり 詳細施策	安全安心メールといった情報の提供に力を入れるべきと考えるが、施策に盛り込まれているか。	第3回
34	意見・提案	41	基本計画	11 子育て環境の充実 基本方針	基本方針に「国の支援の新メニューも柔軟に活用していく」といった方向性を打ち出しておくべきではないか。	第3回
35	意見・提案	41	基本計画	11 子育て環境の充実 詳細施策	乳幼児健診から保育園、幼稚園に行くまで、絶え間がない支援体制をつくってほしい。相談体制に切れ目のない一貫したケアの仕組みを、「11 子育て環境の充実」「12 青少年育成の推進」「13 学校教育の充実」の分野で連携してつくってほしい。学校での支援と学童の支援、あるいは保育園から学童への支援の引継ぎも視野に入れて、子どもの支援を考えてほしい。	第3回
36	意見・提案	41	基本計画	11 子育て環境の充実 詳細施策	「5発達に課題がある子どもへの支援」で、保育所においても保育士の加配に取組んでいくべきではないか。	第3回
37	意見・提案	42	基本計画	12 青少年育成の推進 詳細施策	スクールコミュニティとコミュニティ・スクールについて、対象となるのは「子どもの育ち」である。学校という一つのエリアの中での関わり方として、共通点も多々ある。市民に分かりやすい、取り組みやすい整理をしなければいけない。方針として、スクールコミュニティはずっと後期基本計画の期間中やりきるのか。	第3回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
38	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	学校自身が地域に開いていく、出ていくということも含んだ表現として、施策を推進していくことが重要ではないか。	第3回
39	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	学校教育の充実は、専門家との支援・連携や、第三者の目を入れていくことが大事ではないか。心理専門職の活用を考え、常勤に近い心理専門職が地域にも出ていき、母親や先生の支援もして、また学校につながるような仕組みができればと考える。できれば保健センター、健康づくり課、障がい福祉課、教育関係にも専門職を置いていただき、常勤で連携をとってほしい。	第3回
40	質問	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	福祉との連携が必要な家庭が増えていて、教師の業務を圧迫しているのではないか。スクールソーシャルワーカーとの連携、障がい福祉課、生活支援課との連携など、小田原市としてはどのように考えているか。	第3回
41	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	「12 青少年育成の推進」の中でのスクールコミュニティの形成と、「13 学校教育の充実」の中でコミュニティ・スクールを推進していくというところで、共通しているものと役割が違うところがある。このあたりの整理が後期基本計画では必要ではないか。	第3回
42	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	「5安全・安心で快適な教育環境の整備」について、「新たな教育ニーズへの対応が求められる施設の整備と充実に努めます。」という文言はどのようなことを指しているのか理解しにくい。もうすこしわかりやすい表現にした方がよいのではないか。	第3回
43	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	詳細施策	施設の複合的な活用を国が打ち出しつつある中、教育施設の新たな活用も考えていかなければいけないのではないか。	第3回
44	意見・提案	43	基本計画	13 学校教育の充実	施策の指標	指標「1国語や算数・数学の授業がわからないと感じている児童生徒の割合」について、目標値が10%あるいは11%とされているが、この10%、11%の子どもに対して「こういうケアを考えている」と記述してほしい。	第3回
45	質問	45	基本計画	14 産業振興と就労環境の整備	詳細施策	詳細施策「①働きやすい環境づくり」について、「勤労者にとって働きやすい環境」というのはどのようなイメージか。	第4回
46	意見・提案	45	基本計画	14 産業振興と就労環境の整備	詳細施策	ワーク・ライフ・バランスの視点を、もっと市内の企業の方たちに啓発していくことが大切である。詳細施策の「①働きやすい環境づくり」にその視点を盛り込むべきではないか。男女の働き方について、どこかの部署が責任をもって進めていかなければならないのではないか。	第4回
47	質問	45	基本計画	14 産業振興と就労環境の整備	詳細施策	詳細施策の①～④はやらなければならない問題であり、市単独ではできないものだと思うが、今後、市として「特にこういう分野で働きを強めていきたい」という考えや構想があれば伺いたい。	第4回
48	意見・提案	45	基本計画	14 産業振興と就労環境の整備	施策の指標	指標「①「創業支援事業計画」に伴う市内での創業件数」、「②市内企業拡大再投資件数および市外からの新規立地件数」について、増えていくところを捉えることは大切だが、減っていく数字も捉えて、そのプラスマイナスで指標を作った方が現実的なのではないか。	第4回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
49	質問	46	基本計画	15 小田原ならではのものづくりの振興	施策の指標	49ページの施策の指標では入込観光客数や観光消費総額が大きく上昇しているが、指標「②地場産業PR支援事業・イベントなどの来場者・受講者数」についても連動して数値が伸びるはずではないか。	第4回
50	意見・提案	47	基本計画	16 商業の振興	施策の指標	指標②にある「商店街活性化アドバイザー」について、どのような仕組みなのか。また、良い効果を上げているのであれば、今後も力を入れてほしい。	第4回
51	質問	48	基本計画	17 観光まちづくりの推進	現況と課題	観光ニーズについてどのような手法で調査をおこなっているのか。	第4回
52	意見・提案	48	基本計画	17 観光まちづくりの推進	詳細施策	水産業など、色々な観光資源があるが、各種イベントなどの横の連携を図り、総合力として観光客を入れ込むなどの仕掛けづくりが必要なのではないか。	第4回
53	意見・提案	48	基本計画	17 観光まちづくりの推進	詳細施策	バリアフリーの環境の整備や、多言語表示についての考えは？まち歩きアプリケーションを開発するにしても、障がい福祉課と連携して障がい者団体の人たちの意見を聴かないと、使い勝手が悪いものになってしまわないか。バリアフリーの観点も忘れずにやっていただきたい。	第4回
54	質問	48	基本計画	17 観光まちづくりの推進	施策の指標	日本の人口が減少し、外国人の観光客が一巡した流れの中で、指標①入込観光客数や②観光消費総額は思い切った目標値に見えるが、いかがか。	第4回
55	質問	50	基本計画	18 農林業の振興	詳細施策	鳥獣被害について、現在の小田原市の状況と、今後どのように対策するのか伺いたい。	第4回
56	意見・提案	50	基本計画	18 農林業の振興	詳細施策	農業経営者と一般市民のつながりを強化するための取組について、どのように考えているか。継続的に関われる取り組みについても検討いただきたい。	第4回
57	意見・提案	50	基本計画	18 農林業の振興	施策の指標	施策が5本あり、特に詳細施策①は多岐にわたる要素が盛り込まれているが、施策の指標は2つしか設定されていない。この2つの指標で施策の進捗状況が把握できるものなのか。もう少しブレイクダウンした指標の設定が必要ではないか。例えば③安全・安心な農作物の安定供給で言えば、学校給食での地場産農産物の提供割合など、個別計画で位置付けられている数値があるはずなので、施策全体の状況が分かるように落とし込んでもらいたい。	第4回
58	意見・提案	50	基本計画	18 農林業の振興	詳細施策	「小田原いちばやさい」について、小田原という地域のブランド力の向上を考えると、市場にとられない方が良いのではないか。	第4回
59	質問	50	基本計画	18 農林業の振興	施策の指標	施策の指標①の「農業販売金額」は、所得ではなくて販売か？また、基準年が10.3%、目標値が12.0%とあるが、これは500万円以上の経営体の総体数が増えるものなのか、あるいは就農者の数が減るということで、分母が減っていくということなのか？	第4回
60	質問	52	基本計画	19 水産業の振興	詳細施策	想定事業に「魚ブランド化促進事業」があるが、具体的にどのようなことを想定しているのか。	第4回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
61	意見・提案	52	基本計画	19 水産業の振興	詳細施策	他市でのサンマ食べ放題のイベントのように、今年はカマスの食べ放題、あるいはアジの食べ放題など、そのようなPRも良いのではないかと。	第4回
62	意見・提案	50 52	基本計画	18 農林業の振興 19 水産業の振興	詳細施策	農業、水産業の担い手不足や質の改革のため、ICTを活用した質の改革や企業、大学との連携が必要ではないかと。	第4回
63	意見・提案	53	基本計画	20 歴史資産の保存と活用	詳細施策	実際のところ、城址公園の利用や観光と、歴史資産の保存というところがバッティングするような感覚がある。歴史資産として整備、管理するのであれば、観光の資源としてしっかり活用できるような形を考えてほしい。観光と保存活用のところについては、しっかりと連携をとって考えた計画にしてほしい。	第4回
64	質問	53	基本計画	20 歴史資産の保存と活用	詳細施策	史跡小田原城跡本丸・二の丸整備構想と、城址公園の樹木の管理の整合性は取れているのか。	第4回
65	意見・提案	53	基本計画	20 歴史資産の保存と活用	詳細施策	詳細施策「③博物館構想の推進」の内容について、詳細な説明を聞きたい。ハコモノをどこかに建てるということなのか、フィールドミュージアムを推進していくのか。後期基本計画の計画期間の中で、どこまでを着地点として考えているということが分かるような表現をしておくべきではないかと。	第4回
66	質問	53 54	基本計画	20 歴史的資産の保存と活用 21 文化・芸術の振興	詳細施策	P53.詳細施策「④歴史都市としてのまちづくりの推進」とP54.詳細施策「③小田原ゆかりの文化の保存と活用」の違いが分からないので説明いただきたい。	第4回
67	質問	54	基本計画	21 文化・芸術の振興	詳細施策	芸術文化創造センターの整備について、南足柄市との合併も含んだあり方についての協議が始まったなか、合併の整合性との観点で考えを伺いたい。また、本市の財政事情との整合性ということで、拠点整備というものの考え方を確認したい。	第4回
68	意見・提案	54	基本計画	21 文化・芸術の振興	詳細施策	由緒ある建築物の保存・活用など、どの建築物がどちらの所管なのかというところをしっかりと整理して進めてほしい。連携して進めるのは非常に良いが、どちらの所管かはっきりしなくて、どちらも手を出さないということは避けてほしい。	第4回
69	意見・提案	54	基本計画	21 文化・芸術の振興	詳細施策	地域交流を作り出すのは福祉やまちづくりだけの役割だけではなく、文化の役割でもある。地域コミュニティのためにも、地域交流を促すような文化施設の働きを期待する。	第4回
70	質問	54	基本計画	21 文化・芸術の振興	施策の指標	指標の①はアウトリーチの実施回数で、②はそれに参加した児童数と理解してよいのか。	第4回
71	意見・提案	54	基本計画	21 文化・芸術の振興	施策の指標	アウトリーチの意味するところが全く分からない。中身が見えてこないのだが、誰が誰に対するアウトリーチを行い、そこで何をするのか。	第4回
72	意見・提案	55	基本計画	22 生涯学習の振興	施策の指標	指標①に「生涯学習講座受講者数」があるが、学んだ成果を生かす環境づくりが非常に重要なため、必ずしも指標にせよという意見ではないが、受講が終わった後、実際に活動を始められた方の割合にも着目してほしい。	第4回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
73	意見・提案	55	基本計画	22 生涯学習の振興	詳細施策	「④図書館の機能と役割の充実」について、図書館にパソコンを置いたり、インターネットを活用できるというような状況を整備するということも、生涯学習の1つとして非常に有効だと思われる。市でも、図書館へのパソコンの配置というものを検討してほしい。端末の数が非常に限られており、もう少し広くなれば検索以外のコンピューターの機能として活用できるのではないか。	第4回
74	質問	55	基本計画	22 生涯学習の振興	詳細施策	駅前の広域交流拠点整備は民間の事業になってくるが、図書館機能の整備の可能性はあるのか。	第4回
75	意見・提案	55	基本計画	22 生涯学習の振興	詳細施策	市民活動が活発になってくると活動の場の提供が必要になってくるが、そのあたりの考えを聴きたい。市民が活動するときに施設が不足しており、予約がなかなか取れない。例えば学校の空き教室や図書館、保健センターなど、規制緩和をしなければ使えない状況だが、今後の課題として取り組むべきではないか。	第4回
76	意見・提案	53 54 55	基本計画	20 歴史資産の保存と活用 21 文化・芸術の振興 22 生涯学習の振興	詳細施策	博物館、芸術文化創造拠点、図書館といった施設の整備に関するものが、別々の施策で記載されているが、今後実際の整備にあたって施設の合築・複合化というのは考えられないのか。もし考えられるとしたら、それを明記した方が良いのではないか。	第4回
77	意見・提案	56	基本計画	23 生涯スポーツの振興	詳細施策	現況と課題のところではオリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップといったことが書かれているのだが、詳細施策になるとそのあたりが消えてしまっている。例えば、パラリンピックのためにどういうことを準備していくのかなど、あまり見えてこない。まちづくりのせっかくの機会なので、観光的な部分だとか、重点的、象徴的なところが詳細施策の中に出てくると良いのではないか。	第4回
78	意見・提案	56	基本計画	23 生涯スポーツの振興	詳細施策	ツーデーマーチは非常に象徴的な事業で素晴らしいが、鉄道各社などは「駅からウォーキング」などで多くの参加者を集めているので、連携して取り組んでいったらどうか。	第4回
79	質問	56	基本計画	23 生涯スポーツの振興	基本方針	「誰もがスポーツに親しめる」という言葉の中には、障がい者も含まれているのかどうか。	第4回
80	質問	56	基本計画	23 生涯スポーツの振興	詳細施策	現況と課題の「障がい者スポーツ振興」という中で、どういう方向で進めようとしているのか。	第4回
81	意見・提案	56	基本計画	23 生涯スポーツの振興	施策の指標	「ツーデーマーチ」の中身が分からないので説明いただきたい。	第4回
82	意見・提案	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	詳細施策	「森里川海オールインワン」という概念について、後期基本計画の特徴として前面に打ち出し、16ページの基本理念に入れたらどうか。	第5回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
83	意見・提案	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	詳細施策	詳細施策③「環境学習・環境配慮行動の推進」中、小田原市独自の環境認証基準の詳細が分からないので伺いたい。58ページの表現だと、厳格な認証制度が作られるような印象を受けてしまうが、すでに行われている環境保全に資する取り組みを市としてゆるやかに支援していくのであれば、それが正確に伝わるような工夫が必要ではないか。合わせて、例えば認証制度ができた場合、認証件数が市民活動の進捗を図れる指標になり得るのではないか。	第5回
84	意見・提案	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	詳細施策	通常、ブランドと言うと地域の活性化を目指したものになるが、詳細施策①にある「環境先進都市・小田原のブランド」について、目指しているものは何があたるのか。「ブランドを確立します」と言っているが、もう少し具体的なイメージが出るような形で記述した方がよいのではないか。	第5回
85	質問	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	詳細施策	「環境先進都市・小田原のブランド」について、想定事業の中で関連するものはどれか。	第5回
86	意見・提案	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	施策の指標	「市民の主體的な」という観点からいうと、指標②は公共施設への再生可能エネルギーよりも市民に関する指標の方がよいのではないか。	第5回
87	質問	58	基本計画	24 環境再生・保全活動の推進	施策の指標	指標②の公共施設への再生可能エネルギー導入について、どういう方法で行っていくのか。	第5回
88	意見・提案	59	基本計画	25 廃棄物の減量化・資源化の推進	基本方針	これからは事業者の果たす役割が大きいと考えているが、行政は事業者の役割をどう考えているのか。こういう基本方針を達成していくために、どのような施策を行うのかという施策展開の道筋が分かるような計画であってほしい。	第5回
89	質問	59	基本計画	25 廃棄物の減量化・資源化の推進	詳細施策	1人1日あたりのごみ排出量の減量化について、目玉事業がほしいところだが、想定事業の中でそれに当たるものがあるか。	第5回
90	質問	59	基本計画	25 廃棄物の減量化・資源化の推進	詳細施策	前期のふりかえりでは平成32年度を目標に新しいごみ処理体制を目指すと言われているが、今回の「広域化を視野に施設整備や手法を検討します。」という詳細施策は、前期の目標を前提としつつという理解で良いのか。	第5回
91	意見・提案	59	基本計画	25 廃棄物の減量化・資源化の推進	施策の指標	現況と課題に「1人1日当たりのごみ排出量は、全国平均よりも多い状況が続いている」という現状認識があるが、最終的に1人あたりのごみ排出量はどうなったかの指標が無い。「1人あたりのごみ排出量」の指標をここに載せていただきたい。	第5回
92	質問	60	基本計画	26 良好な生活環境の保全と形成	基本方針	小田原市でゴミ屋敷状態になっている事例はどの程度あるのか。また、ゴミ屋敷は福祉の問題が強いものでもあるが、他の政策でも取り組む考えはあるのか。	第5回
93	意見・提案	61	基本計画	27 自然環境の保全と再生	施策の指標	「自然環境の保全と再生」ということと言えば、「木材流通量」よりもふさわしい指標が検討できるのではないか。	第5回
94	質問	61	基本計画	27 自然環境の保全と再生	施策の指標	県でも水源環境保全税を導入して、県西2市8町だけでも間伐材を12,000立方メートル流通させている。県との施策の関係についてどのように考えているか。	第5回



No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
95	意見・提案	61	基本計画	27 自然環境の保全と再生	施策の指標	詳細施策の中で里山の再生が謳われているが、想定事業の方では具体的なものが見えない。そういう施策があるのであれば、指標②のところで植林をした本数や面積などで表現をすると、里山の再生について目標が立てやすいのではないかと。	第5回
96	意見・提案	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり		この施策は、非常に多岐にわたる項目が盛り込まれていて、都市構造の話も空間スケールの違うものが含まれている。項目を分けることはできるのか。また、これだけ書かれていながら指標が一つということも気になるところである。49ページにある「小田原城天守閣入場者数」など、共同の指標でも構わないので設定した方がよいのではないかと。	第5回
97	質問	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり		「小田原駅周辺は狭小な敷地が多く、権利が輻輳して事業適地が少ない」という話を聞いており、これはコンパクト化にとって決定的な事情だと思われるが、この隘路を乗り越えてコンパクトシティ化を乗り越えていく手だてとしての考えを伺いたい。	第5回
98	意見・提案	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	基本方針	集約型の都市形成について、基本方針のところも含めて打ち出されるべきではないかと。	第5回
99	質問	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	想定事業一覧の21ページには住宅政策推進事業、街なか居住推進事業が載っているが、高さ規制についてはどう考えているか。	第5回
100	質問	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	津波が来たら逃げ場が無いと言われているような地域については対応が必要と思われるが、それを含めての立地適正化計画ということでのよいのか。	第5回
101	意見・提案	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	少子高齢化あるいは人口減少に対する想いのようなものが感じられない。もうちょっと踏み込んだ表現があってもよいのではないかと。	第5回
102	質問	62	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	立地適正化の中では、公共施設の機能の集約化も考え方として含まれてくると思うが、特にここでは謳われていないように思える。そのあたりについてどうなっているのか。	第5回
103	質問	63	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	詳細施策⑤「緑化の推進と公園の整備・管理」の中で、街路樹の再整備・改善によるみどりの創出や質の向上をはかるとはどのようなものか、また、資金循環の仕組みづくりとはどのようなものか伺いたい。	第5回
104	意見・提案	63	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	詳細施策	生産緑地の期限が2020年に迫っているが、それへの対応を検討するということを記載しておいた方がよいのではないかと。	第5回
105	質問	63	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	施策の指標	指標①「身近な公園プロデュース事業実施公園数」とあるが、これは都市公園法上の公園のことか。	第5回
106	意見・提案	63	基本計画	28 快適で魅力ある生活空間づくり	施策の指標	詳細施策④「快適に暮らせる住環境の形成」があるが、指標の中に空家をどれだけ活用したかを設定できないか。あるいは、それができないとしてもP40「10 安全・安心の地域づくり」にある指標③「空家率」を再掲したらどうか。	第5回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
107	意見・提案	64	基本計画	29 安全で円滑な地域交通の充実	詳細施策	前の施策では集約型都市構造について書かれているが、施策29ではそれに触れられていない。「都市構造にどう影響するかという観点から見直す」ということを入れていただきたい。また、交通であるともう少し指標が設定できる気がする。渋滞率や渋滞解消率など、そういった数字があるとここに書いてあることが計れるのではないか。	第5回
108	意見・提案	64	基本計画	29 安全で円滑な地域交通の充実	詳細施策	バスの減便の問題や新たな交通手段の施策について、後期基本計画では取り組んでいくべきではないか。	第5回
109	質問	65	基本計画	30 安定した水供給と適正な下水処理	目指す姿	「目指す姿」は平成34年に実現している姿を描くものであり、「いつまでも」という表現は未来進行形のため、そぐわないのではないか。	第5回
110	意見・提案	65	基本計画	30 安定した水供給と適正な下水処理	施策の指標	災害上、水の問題は非常に重要な問題だと思う。例えば、38ページ「8 災害に強いまちづくり」にも「管路の耐震化率(水道)」を入れるなど、他の項目と連携した指標設定でも良いのではないか。また、指標③「料金回収率(水道)」の目標値が100%を超えているのはなぜか。	第5回
111	意見・提案	65	基本計画	30 安定した水供給と適正な下水処理	施策の指標	指標①「管路の耐震化率(水道)」について、もう少し高い目標値を設定した方が良いのではないか。	第5回
112	意見・提案	65	基本計画	30 安定した水供給と適正な下水処理	施策の指標	指標②「下水道人口普及率」があるが、下水道以外の地中型排水や合併処理浄化槽といった手法も含めて表現すると、適正な下水処理という趣旨に適うのではないか。下水道だけで表現するのであれば、下水道区域内の普及率、処理人口とした方が正確なのではないか。	第5回
113	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	目指す姿	市民と行政は違った立場であり、「対等な立場で」というのは素朴な疑問を感じる。なぜこの言葉を入れたのか。また、現状どのように思っているのか。この言葉が入っていること自体が不自然な感じで、市はどう考えているんだろうと疑問が出てきてしまうのではないか。	第6回
114	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営 32 市民活動の促進	目指す姿	協働の推進において、本当に相互の信頼関係を築いていくためには、いったんそういう立場を横に置いて話し合っていかなければならない。そういった場合に「対等」というのが謳われていると、行政側も自己抑制するし、市民の側も自信を持って話をするという関係が築かれる。この「対等」という言葉は現時点で非常に重要だと思う。	第6回
115	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	現況と課題	「地域コミュニティ」という言葉が分かりづらい。「自治会」という言葉との違いが分からない。市民の方に、「地域コミュニティで仕事をしているんだぞ」という気概を持っていただけるような、意味のある積極的な言葉であってほしい。	第6回
116	質問	67	基本計画	31 協働による地域経営	詳細施策	詳細施策①②が前期振り返りに見当たらないが、この5年の間に、この施策を打ち出す必要が出てきたのか。	第6回

No	種別	ページ	該当箇所			委員意見・質問等一覧	会議回
117	意見・提案	67 68	基本計画	31 協働による地域経営 32 市民活動の促進	詳細施策	「市民」の概念について、一般的には自然人である市民と法人の両方が含まれていると思うが、「32 市民活動の促進」の詳細施策②「協働事業の実施」の中では、事業者と企業にも担い手として地域で役割を果たしていただくこともあってしかるべきだと考える。そういった考えも盛り込んでいただきたい。「市民活動団体」だけでは、企業や事業者が読み取れない。	第6回
118	質問	67 69	基本計画	31 協働による地域経営 33 情報共有の推進	詳細施策 現況と課題	地域コミュニティ組織の権能強化を目指しているのか。また、いつごろまでに地域コミュニティ組織が目指す姿になるのか。	第6回
119	質問	67	基本計画	31 協働による地域経営	詳細施策	公民館の老朽化や修復、建替えの支援も、この事業に含まれるのか。	第6回
120	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	詳細施策	地域コミュニティ組織の拠点について、多様な形で活動拠点を確保していくということで、ぜひ頑張ってください。	第6回
121	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	詳細施策	地域別計画の中の取組が所管にまたがっているのか、窓口の一本化ということも必要なのではないかと。	第6回
122	質問	67	基本計画	31 協働による地域経営	施策の指標	指標②「地域コミュニティ組織参加者数」について、参加者の定義はどう考えているのか。また、目標値の根拠はどのように基づいているのか。	第6回
123	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	施策の指標	指標②「地域コミュニティ組織参加者数」について、目標値が1,500人というのはかなり意欲的な数字だと思う。ぜひ頑張ってください。	第6回
124	意見・提案	67	基本計画	31 協働による地域経営	施策の指標	指標③「自治会加入世帯数」について、自治会の本質的な数字は加入率となるが、加入率が目に見えて上がったという実践結果は全国的に無い。そうした中では、「仲間が増えた」ことで自治会活動の輪を広げていくことが大事だと考えている。そういう意味では、加入世帯数を大事にしていくという態度は適切だと考える。小田原市の実情を勘案して、きちんとした数字にしていきたい。	第6回
125	質問	68	基本計画	32 市民活動の促進	詳細施策	詳細施策①「市民活動の支援」について、後期基本計画では、市民交流センターの運営主体はどこの担うと考えているのか。運営責任は引き続き市が担っていくのか。行政がしっかりと責任をもってやっていただきたいと考えている。	第6回
126	質問	68	基本計画	32 市民活動の促進	詳細施策	詳細施策②「協働事業の実施」について、提案型の協働事業は現時限的であるが、この事業の継続性についてはどのように担保していくのか。	第6回
127	意見・提案	68	基本計画	32 市民活動の促進	詳細施策	横浜市や川崎市では、少しずつ民間の中間支援組織が育つといった経過を辿っている。組織を育成していくという視点をぜひ持ってほしい。	第6回
128	意見・提案	69	基本計画	33 情報共有の推進	施策名	「情報共有の推進」という施策名について、「共有」というと若干内向きな印象を持つ。地域外への発信も含んでいるので、「情報の発信と共有の推進」などの方が良いのではないかと。	第6回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回	
129	質問	69	基本計画	33 情報共有の推進	現況と課題	「市政に関わりたいという市民の意識も高まっています。」という書かれ方がされているが、投票率が低下している中でなぜこのようなことが書かれているのか、認識を伺う。	第6回
130	意見・提案	69	基本計画	33 情報共有の推進	詳細施策	詳細施策①の、データを積極的に提供していくことは大変結構で、最近オープンデータという言葉もあるのでぜひ進めていただきたい。ただ、庁内外のスキルアップが必要になると思うので、施策としてITの推進を打ち出しても良いのではないかと。	第6回
131	意見・提案	69	基本計画	33 情報共有の推進	詳細施策	施策の指標①には「フェイスブックの『いいね！』数」とありながら詳細施策①には「ホームページ」としかない。ITを含めたメディア戦略という考え方が弱いと思われるが、どのように認識されているか。「メディア戦略的な部分に力を入れていきます」という部分が見えてこないのではないかと。	第6回
132	意見・提案	69	基本計画	33 情報共有の推進	施策の指標	フェイスブックのようなサービスは、5年経つと古めかしくなってしまう。ホームページは無くならないと思うので、指標②の方が重要度は高いのではないかと。順番を入れ替えていたらどうか。	第6回
133	質問	69	基本計画	33 情報共有の推進	施策の指標	施策の指標①「フェイスブックページの『いいね！』数」について、どのように増やそうとしているのか。目標値はもっと増やさなければいけないのではないかと。	第6回
134	意見・提案	69	基本計画	33 情報共有の推進	施策の指標	施策の指標②「ホームページアクセス数」は、場合によっては必要な情報にすぐたどり着かないため、アクセス数が増えている場合がある。単純に増えればいいものではないということは、ぜひ念頭に置いてほしい。	第6回
135	意見・提案	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	基本方針	基本方針の「より効果的かつ効率的な行財政運営」という言葉があるが、これを実現していく上で、民間活力をどのように導入するのかという視点が読み取れない。そのような趣旨も盛り込んでいただきたい。	第6回
136	質問	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	現況と課題	何をもち「最大の効果」で、何をもち「最適な配分」と考えられているのか伺いたい。	第6回
137	意見・提案	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	詳細施策	詳細施策③「規律ある財政運営」の償還元金以内で決められている投資的経費の部分の考えについて、なぜそのように具体的に決めてしまうのか。歳入を増やしていくための投資的経費、「投資に力を入れていきます」という姿勢が見えない。	第6回
138	意見・提案	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	詳細施策	国から、公会計処理の方法を複式簿記の形にするよう求められているのではないかと。計画の方に記載した方が良いのではないかと。	第6回
139	意見・提案	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	詳細施策	複式簿記の関係について、公会計や財政の状況を市民に示すのは大事なことだと思われる。そういった取組については今後も継続して、工夫をしながら進めてほしい。	第6回
140	質問	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進	詳細施策	詳細施策④「競輪事業の今後に向けた検討の本格化」について、最終的には答申を出すのかなど、今後の進め方など分かる範囲で伺いたい。	第6回

No	種別	ページ	該当箇所		委員意見・質問等一覧	会議回
141	質問	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進 詳細施策	競輪事業については、本格的に今後に向けた検討を行わなければいけない段階に至ったと拝察している。5年前と比べて、事情が大きく変わったようなことがあれば伺いたい。	第6回
142	質問	70	基本計画	34 自立した行財政運営の推進 詳細施策	ふるさと納税制度について、税源流出が問題になっている。小田原市の状況はどうか？	第6回
143	質問	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 詳細施策	前期の振り返りでは、平成23から27年度にかけて、国や県の派遣職員数に幅がある。何か特別な事情があったのか。また、国や県への職員の派遣について、今後どのような方針・考えを持っているのか伺う。	第6回
144	意見・提案	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 施策の指標	「新採用職員の人事評価の評点」と「職員研修参加者アンケート結果」は、内部で評価された結果だと思われるが、外部から見て職員がどう見えるかということが指標になる必要があるのではないか。	第6回
145	意見・提案	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 施策の指標	人事評価について、外部評価をする、しないということは十分に説明責任を果たすという観点からしてもかなりコストがかかる。事務局の回答でも、それは一つの見識なのではないかと思う。	第6回
146	意見・提案	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 施策の指標	このようなものを指標において、それがどう動くかをしっかり見るのは、それとして意味はある。ただ、数字が独り歩きすることは往々にしてあるので、数字が上がった、下がったで一喜一憂するのではなく、中身をよく見るための指標として扱っていただきたい。	第6回
147	質問	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 施策の指標	指標①「新採用職員の人事評価の評点」について、平成27年度は68.0点、平成34年度は70.0点であるが、2点の差は具体的に何か。基本方針で人材の育成を謳っており、市民に愛される職員を育成するという立場からみると、このような評価採用はどうかと思う。	第6回
148	質問	72	基本計画	35 自ら考えて行動する職員の育成 施策の指標	指標②「職員研修参加者アンケート結果」について、研修の対象者、人数、判断基準について伺う。	第6回
149	意見・提案	73	基本計画	36 広域行政の推進 施策の指標	近隣の地域、市町、県といったところの連携が広域行政として括られているが、大規模災害を考えた場合、遠距離の自治体との協力・支援体制も重要なので、遠距離自治体との要素を入れられないか。	第6回